

# 座・ガモールファーム 通信

Vol. 37 | 2026.1.01



12月に埼玉校舎で収穫した大根とにんじん

## 新年明けましておめでとうございます

### 初春の候

皆様明けましておめでとうございます。今年は大正大学100周年という節目でもあり、座・ガモールファームも更なる発展を目指してまいります。今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、先日12月にはご縁をいただき、キャンパス農園班のメンバーで埼玉県ときがわ町を訪問しました。ときがわ町は有機農業が

盛んな町として知られており、地域振興の取り組みにおいても注目されている地域です。現地では有機農家の方のお話を伺ったほか、畑や直売所の見学、クラフトビール工房の案内などをしていただきました。農業の現場や地域の取り組みを直接知ることによって、学生たちは持続可能な農業や地域づくりについて、より具体的に考えるきっかけを得ることができたのではないかと思います。(山本)



有機農業の現場について話を聞く



# 今月の活動

## キャンパス農園班

皆様、新年あけましておめでとうございます。地域創生学部地域創生学科2年の野沢奏です。

お正月はいかがお過ごしでしたか？1月の農園は、春に収穫を迎えるスナップエンドウやソラマメなどが芽を出し始めています。厳しい寒さの中でも、土の中では着実に次の季節への準備が進んでおり、その生命力にはいつも勇気づけられます。

さて、今月の大きなトピックスとして、2月に開催される「豊島区社会貢献活動見本市」への出展が決定しました。豊島区社会貢献活動見本市とは、豊島区内で活動するボランティア団体、NPO、企業、学生団体が一堂に会し、地域を良くするための取り組みを発表するイベントです。ブース展示や交流を通じて、地域課題の解決に向けた新しいつながりを作ることを目的としています。

私たちがこの舞台に挑戦する最大の目的は、キャンパス農園班を「より地域に根差した団体」へと成長させることです。これまでは大学内での活動やイベントの出店が中心でしたが、本当の意味で地域の一員として活動していくためには、まず私たちがどのような想いで土に触れ、何を形にしようとしているのかを、広く学外の方々に周知する必要があります。また、区内で活動している諸団体の方々ととの交流を通じて、専門的な知見や新しい連携のヒントをいただき、活動の幅を広げたいと考えています。

正直なところ、現時点では「当日何を展示し、どう表現するか」について、班員たちと試行錯誤を繰り返している真っ最中です。何を伝えれば地域の方々の心に届くのか悩む場面も多いですが、この準備期間そのものが私たちの活動を見つめ直す大切な糧になると思います。

今年も、班員一丸となって、より豊かで地域に開かれたキャンパス農園班を作り上げてまいります。温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



先日行われたIKE・SUNPARK 5周年祭への出店の様子主催の方からぜひ来年度の出店もお願いしたいとの声をいただきました！

## 座・ガモールファーム



埼玉校舎で収穫した伝統野菜

1月になりガモールファームは次の季節への準備期間に入りました。埼玉校舎では最後の収穫として練馬大根、大蔵大根、亀戸大根、金町小かぶ、にんじんなどの収穫を行いました。どれも立派な大きさでした。一方で、大学で育てていた滝野川かぶはあまり育ちませんでした。去年埼玉校舎で栽培したものは品評会で特賞をいただくほど立派でしたが、やはり気候や日当たりなどの条件の違いがあるのかもしれません。

また、そろそろ去年仕込んだ味噌を開ける時期がやってきました。活動の初期から毎年作っている味噌ですが、去年からは日本農林社様から余った大豆をいただき味噌にしています。前は失敗してしまいましたが、今年はまだ一度大豆の栽培にチャレンジしてみてもいいかもしれません。

このようにガモールファームでは野菜の栽培だけでなく、収穫した野菜のさまざまな活用も目指しています。これまで鴨台祭や盆踊りでの大学芋やじゃがバターの販売、鴨台食堂や地元飲食店への提供などを行っていましたが、今年にはさらに地域との関わりを深めるため、子ども食堂への野菜提供も考えています。

今年の座・ガモールファームも盛りだくさんで活動していく予定ですので、皆様ぜひご注目ください。

(山本)

## 詳細はこちら

座・ガモールファームの詳細はこちらから見るができます。Instagram、note、YouTubeに画像や動画がたくさんあり、Twitterではイベント告知をするのでぜひご覧ください。

